

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 福利課
 担当名: 総務・住宅担当
 内線: 6698

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B15	教職員住宅等管理費			一般会計	教育費	教育総務費	教職員人事費	教職員住宅等管理費	
事業期間	昭和39年度～	根拠法令	埼玉県教職員住宅管理規則			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	11, 16
						分野施策	0504 質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	11-7, 11-b, 16-1
1 事業概要	教職員住宅は、教職員の生活の基盤となる住居を提供し、生活の安定を図ることを目的とし、教職員住宅の入居者からの貸付料収入及び電気通信線路事業等の公有財産貸付料の徴収を行う。また、教職員住宅の維持管理のため、修繕や施設管理業務を行う。 加えて、廃止した教職員住宅を順次解体し、地域の安全・周辺住民の安心を確保する。 (1) 教職員住宅等管理費 △5,019千円 業務委託料における入札差金並びに節減等による減額 (2) 廃止住宅解体費 △55,464千円 工事請負費が当初の見込みを下回ったこと等による減額			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 教職員住宅等管理費 30,962千円 23の教職員住宅の維持管理のための修繕や施設管理業務を実施する。 イ 廃止住宅解体費 229,457千円 廃止した教職員住宅の解体等を実施する。 (2) 事業計画 ア 教職員住宅の適切な維持管理を行い、入居率の向上を図る。 目標: 90%以上 イ 廃止住宅の解体等を順次実施していく。 (3) 事業効果 ア 日常生活において、安全で安心できる快適な住環境の整備及び入居率の向上。 過去5年間の4月1日現在の入居率 平成29年度: 88.3% 平成30年度: 83.7% 令和元年度: 80.2% 令和2年度: 78.2% 令和3年度81.9% イ 地域の安全・周辺住民の安心の確保 (4) 補正予算の概要 ア 教職員住宅等管理費: 業務委託料における入札差金並びに節減等による減額 イ 廃止住宅解体費: 工事請負費が当初の見込みを下回ったこと等による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.8人=17,100千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		財産収入	県 債						
決定額	△60,483	△5,296	△50,000					△5,187	199,936
現計額	260,419	76,558	206,000					△22,139	

事業内訳書

事業名	教職員住宅等管理費		
単位事業名	教職員住宅等管理費	予算額	△ 5,019千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△28	—	節約による旅費の減
需用費	△1,324	—	節約による需用費の減
役務費	△565	—	節約による役務費の減
委託料	△3,102	—	入札差金等による委託料の減
合計	△5,019	—	

単位事業名	廃止住宅解体費	予算額	△ 55,464千円
-------	---------	-----	------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
工事請負費	△55,464	—	当初の見込みを下回ったこと等による減
合計	△55,464	—	